



平成二十六年度  
全日本珠算選手権大会が京都で開催される

荒木田 富枝

平成二十六年度全日本珠算選手権大会が八月八日、京都市の国立京都国際会館において開催されました。

会場の国立京都国際会館は、平成二十四年、平成二十五年、に続いて三年目の開催となります。

前日の会場に向かう地下鉄の車中でも、他県の見慣れた顔の選手達や初々しい小学生の姿も見られました。

文字通り『そろばん日本一』を決める大会で、全国各地から小学生一四六名、中学生一八〇名、高校・一般二三三名、計五五九名が参加して開催されました。静岡県からは小学生二名、中学生二名、高校生五名、一般四名で、計十三名の参加です。



発行者  
一般社団法人 静岡県珠算協会  
公益社団法人 全国珠算教育連盟静岡県支部  
(静岡市駿河区八幡2丁目)  
茂夫  
久村 増松  
アール株式会社

会場の関係で前回、前々回の大大会は個人総合競技において、小学生と中学生以上の選手を分けての競技となっていましたが、以前に戻つて、全員が一堂に会しての大会となり、大変見ごたえのある大会となりました。

前日の七日午後三時より着席の抽選があり三時二十分より五時まで競技会場を練習会場として開放され、同行の先生方のご協力により、熱のこもった練習ができました。

今年も、都道府県対抗競技の対戦相手が、七月の時点で決定されているので相手を見据えての練習ができます。一回戦は不戦勝なので二回戦の対戦相手と、県選手の顔を見ながら今年は勝てるかも?と期待がかかる。

今年も、事前に各支部で引率者の中から大会当日大会運営委員の依頼があり、静岡県支部では栗田昭男先生を推薦申請し、一日運営委員として、頑張っていただきました。

八月八日、午前九時、生駒副理事長による開会宣言、正面スクリーンに、『己の全てをこの一珠かける』の言葉に統いて、大会参加全選手の氏名が北海道より正

面スクリーンに映し出され、静岡県は高梨選手を筆頭に十三名の選手名が並ぶ。心中で頑張れ! 梶川理事長の挨拶の中で「今年は、個人総合競技において小学生も中学生以上も一堂で競技することができ、多くの選手たちが全日本大会の雰囲気を経験し、今後の成長に繋がるものと期待しております。『そろばん日本一』の栄冠を得るには、心技体の充実が強く求められます。今年も歴史に残る戦いを期待いたします。」また、文部科学省・小林努様、全珠連顧問 有村治子参議院議員の来賓挨拶があり、選手代表・滋賀県彦根市立南中学校二年の森隆志選手による選手宣誓で、いよいよ競技が開始されました。

《フラッシュ暗算》

優勝は大阪府の新名哲也選手で内容は三桁十五口 一・八五秒で昨年までの記録を破ることはできませんでした。又、昨年まで四年連続優勝し、ギネス記録保持者の笛野健夫選手が入賞しないという波乱もありました。

静岡県の選手は、あと一步のところで入賞ならず誠に残念。

### 《個人総合競技》



満点が二名・千葉県の堀内祥加選手と東京都の原子弘務選手で決勝がおこなわれ、堀内祥加選手が「そろばん日本一」に輝きました。平成十九年、高校生の時に優勝し、二度目の優勝です。おめでとうございます。精神的な強さを深く感じました。

本県関係の入賞者は次の通りです。

和久田貞子選手五十七位、大杉麻実選手七十三位でした。

### 《読上算競技》

優勝は千葉県の堀内祥加選手、五桁から十六桁。昼食休憩そして「小学生そろばん日本一」が発表

され、辻窪凜音選手(埼玉県)三年生でした。また、小学生優秀選手・あと九人の内、四年生三人・五年生二人・六年生四人、恐るべき低学年の力です。

### 《読上算競技》

優勝は三重県の中学生・杵川日向雅選手、七桁から十六桁。

予選組み合わせは、七月発表されていて、三十六チームの参加です。



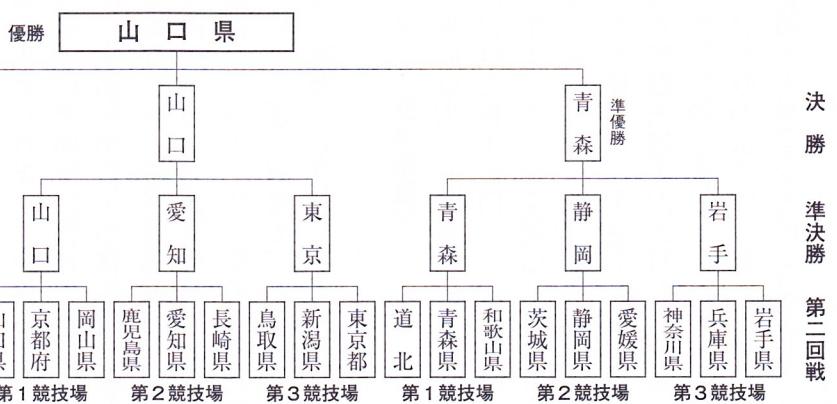
まず、一回戦がおこなわれ、次に二回戦からは、A・B・Cの三ブロックに分かれての戦いとなります。静岡県チーム代表は、一般・西尾貞子、中学生・西澤絵里佳、小学生・松本康佑の三選手で、Cブロックです。一回戦は不戦勝、二回戦は茨城県、愛媛県と対戦し勝ち残り、準決勝に進出。準決勝は各ブロックの勝者三チームづつの九チームでおこなわれ、相手は優勝候補の青森県と岩手県、残念ながら勝ち残ることはできません

でしたが、よく頑張りました。優

勝・山口県、準優勝・青森県、三位・大阪府でした。成長して来年に期待したいです。

今年も多くの選手に参加していただき誠にありがとうございます。栗田副支長はじめ同行の澤田幸子先生、竹内史寿先生他、高校の先生方にも大変お世話になり、感謝申し上げます。来年も京都府の開催となります。

### 都道府県対抗競技結果



# 平成二十六年度 第一回理事会

会の議長は会長になる旨の説明があり松村 茂会長が議長に選任された。

議事録署名人として、松村 茂、  
公家俊夫、宮崎建次 各先生を翼

任して議事に入つた。

静岡県支部常任委員会 公益社団法人 全国珠算教育連盟

平成二十六年度静珠協第一回理事会および全珠連常任委員会が平成二十六年八月三日（日）、静岡県珠算会館に於いて開催されました。会長（支部長）挨拶に続いて各執行部報告、定足数の報告、議事録書名人の選任が行われ議事に入りました。

(1) 定足数報告

静岡県珠算協会理事会

役員総数十五名、議決権十三  
名、出席総数十三名、本人出席  
十三名、委任状〇名、監事二名  
公益社団法人 全国珠算教育連盟  
静岡県支部常任委員会

役員総数二十名、議決権十八  
名、出席総数十八名、本人出席  
十八名、委任状〇名、監査二名  
※いずれも定足数を満たしており  
議事は成立する旨報告があつた。

(2)議長選出及び議事録署名人  
一般社団法人 静岡県珠算協会理事  
事会 定款第三十八条により理事長



議事録署名人として松村 茂、深澤好胖、栗田昭男 各先生を選任して議事に入つた。

(退会) …改正  
第十条 会員は、理由を付して退会届を提出し、任意に退会することができる。項目に「同時に公益社団法人全国珠算教育連盟も退会するものとする。」文言を追加す

静岡県珠算協会と全珠連静岡県支部は表裏一体である。静岡県珠算協会は退会して全珠連は会員として残っている現状があり今後このような問題が発生する可能性があるかもしれない。よつて県および全珠連本部とも相談して静岡県珠算協会の定款の一部追加改正を議事として提案します。（松村茂

（入会）第七条三項には正会員は、入会と同時に公益社団法人全国珠算教育連盟に加入するものとする。文言が明記されているが、退会時には公益社団法人全国珠算教育連盟を退会する文言が明記されていないので上記文言を追加したい。（松村茂先生）

この件について過去のいきさつを述べると（中林正隆先生）

を述べると（中林正隆先生  
静岡珠算協会が昭和十

静岡珠算協会が昭和十八年に創立し、全珠連が昭和二十八年に創立した。当時大井川を境にして東を静岡県珠算協会が西を遠州珠算振興会の二つの珠算団体に分かれて運営されていたが、全珠連創立に当つて両団体が合併し静岡県珠算協会となり全珠連の運営に全面的協力する事になり全員が全珠連に加入した。当時、全珠連会員は静岡県珠算協会に加入することが支部会則に明記されていた。また静岡県珠算協会会員は全珠連に加入する事が静岡県珠算協会規則



① 「静岡県珠算協会定款」に  
 (3) 議事

① 「静岡県珠算協会定款」に

がありました。全珠連本部では団体が違うので静岡県珠算協会の定款内容については特に問わないとした事は大変良いと思います。（中林正隆先生）

全珠連とは別団体の静岡県珠算協会の会員を退会する場合は、全珠連会員も退会する事が本当に認められるのか。全珠連の定款・支部会則にはそのような文言が無いが問題にならないか。（宮崎順孝先生）



に明記されていたが、全珠連会則が変更になった時、この項目は団体が違うということで削除されてしまった。静岡県側より何の行動もなく現在に至っている。一般社団法人 静岡県珠算協会定款申請

県の解釈についても団体のルールに基づいて作成した定款を県が公正と認めて一般社団法人静岡県珠算協会の認可を取得した。静岡県で珠算を始めるには、静岡県珠算協会が窓口（入り口）であるとの解釈で定款を作成した。よって全珠連会員になるには、静岡県珠算協会に加入して、全珠連静岡県支部の推薦が有つて全珠連会員になれる。今回の改正内容について何ら問題はありません。（松村茂先生）

全珠連だけに留まるのはおかしいではないかとの意見が有り、県に相談した結果、今回、定款の文言を追加した改正案通りで支障はないが本部の意向はどうかとの事で

全珠連本部に会費を納入している場合はどうされるのか？会費を納めている限り退会させる事は出来ないのでないか。（杉山忠郎先生）

全珠連本部に会費を納入している場合に会費を納入していなかった場合に会費を納入する事は出来ないのでないか。（栗田昭男先生）

※賛成多数で承認された。

⑤公益社団法人 全国珠算教育連

会員からは、六月末日までに次年度分の会費を事務局が徴収している。しかし事務局より全珠連本部に会費を納入するのは翌七月に入つてから納入するので年度末までに退会の意思表示があつた場合には、次年度会費の返金は可能である。（栗田昭男先生）

※審議の結果、静岡県珠算協会定款に追加改正を原案どおり承認・可決された。（別紙配布資料参考照）

②一般社団法人 静岡県珠算協会「平成二十五年度事業報告」に関する件  
各執行部より別紙配布資料にて説明

※賛成多数で承認された。  
③公益社団法人 全国珠算教育連盟静岡県支部「平成二十五年度事業報告」に関する件  
各執行部より別紙配布資料にて説明

（5）その他

広報事業費二四〇万円の使途について知恵を借りたい。（松村茂先生）  
使い道について各地区会員の意見を聞いて欲しい。

毎年実施している年賀広告を支部負担したらどうか。（杉山忠郎先生）  
負担額については別途検討する。（松村茂先生）

（6）新入会員に関する件

新入会者（浜松地区）三名を承認。（別紙配布資料参照）

※賛成多数で承認された。

（7）協議事項

「第五十回静岡県そろばんの日」について

役員の先生方には新しい資料を送付するので確認して下さい。（深澤好胖先生）

（8）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（9）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（10）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（11）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（12）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（13）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（14）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（15）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（16）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（17）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（18）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（19）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（20）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（21）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（22）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（23）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（24）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（25）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（26）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（27）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（28）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（29）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（30）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（31）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（32）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（33）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（34）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（35）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（36）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（37）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（38）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（39）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（40）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（41）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（42）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（43）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（44）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（45）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（46）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（47）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（48）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（49）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（50）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（51）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（52）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（53）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（54）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（55）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（56）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（57）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（58）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（59）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（60）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（61）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（62）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（63）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（64）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（65）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（66）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（67）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（68）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（69）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（70）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（71）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（72）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（73）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（74）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（75）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（76）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（77）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（78）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（79）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（80）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（81）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（82）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（83）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（84）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（85）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（86）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（87）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（88）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（89）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（90）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（91）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（92）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（93）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（94）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（95）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（96）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（97）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（98）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（99）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（100）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（101）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（102）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（103）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（104）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（105）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（106）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（107）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（108）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（109）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（110）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（111）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（112）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（113）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（114）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（115）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（116）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（117）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（118）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（119）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（120）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（121）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（122）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（123）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（124）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（125）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（126）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（127）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（128）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（129）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（130）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（131）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（132）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（133）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（134）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（135）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（136）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（137）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（138）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（139）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（140）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（141）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（142）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（143）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（144）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（145）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（146）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（147）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（148）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（149）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（150）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（151）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（152）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（153）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（154）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（155）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（156）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（157）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（158）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（159）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（160）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（161）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（162）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（163）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（164）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（165）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（166）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（167）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（168）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（169）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（170）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（171）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（172）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（173）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（174）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（175）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（176）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（177）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（178）別紙配布資料にて説明（栗田昭男先生）

（179）別紙配布資料にて説明（栗

## 新入会員研修会に 参加して

志太榛原地区 山口 瞳代

静かに降る雨にうす紫色の紫陽花の穂がよく似合う七月十三日、県珠算会館に於て「新入会員研修会」が開催されました。会員六人に講師八人の先生が順次入れ替わり徳増先生の気さくで和やかな進行で始まりました。

内容を二、三列記すると支部長から「対話と協調を打ち出され、変える変わるもの明るい組織作りを楽しくやっていこう。」と力強いお話を。

会計部長から勘定科目の説明・注意事項として教材費と検定料の差額を雑収入として上げるようになります。

珠算検定部長から「静岡県は下級検定が伸びないので宣伝してほしい。検定は受験者あつての財源で申し込み〆切等大変だが協力をお願いしたい。」

静珠協検定部長から「間の月に行う検定なので短期間で級を上げやすく、上達に繋げ、モチベーションを上げることができる。これは親にアピールできる。」と。

最後に研修部長から「指定教場として毎年二単位を取得して自己研鑽するように。」と話されました。

検定試験・競技会・各行事等諸先生方が如何にご尽力され組織が運営されている事を改めて実感致しました。その思いをそろばんを通じて、子供達に魅力的に楽しく上達させていく事が今後私の課題と大いに自覚することができました。研修会に参加させて頂き有意義で貴重な一時を過ごすことができありがとうございました。

今後の珠算の進むべき方向について。

『将来をみすえてのITの推進』組織としてのテーマ『対話と協調』

『何でも言い合える組織作り』を目指していく事。そして『今日の新人会員が今後の中心となり育つていてほしい』という心のこもつたお言葉を頂きました。

（深澤総務部長より）

（荒木田珠算検定部長より）

（深澤総務部長より）

（荒木田珠算検定部長より）

（深澤総務部長より）

（深澤総務部長より）

（深澤総務部長より）

けを御用意下さり、和やかな雰囲気の中、研修が始まりました。

冒頭、『二名の方にはおみやげ

があります』という言葉に『まさか!?宿題!?』と予想したとおり、私は「そろばん静岡」の原稿執筆

を引き当ててしまい、大きなプ

レッシャーの中、受講する事となつたのでした。

（松村支部長より）

今後の珠算の進むべき方向につ

いて。

（渡辺競技部長より）

平成二十五年競技事業報告。全日本珠算選手権、全日本通信珠算競

技会、静岡県珠算選手権。どの結

果も満点あるいはそれに準ずる点

数の百戦錬磨の選手達のレベル

の高さに改めて驚くばかりです

が、子供達のがんばりに負けない

よう、私達も日々精進していかね

ば、との思いを強くした講義でし

た。

（深澤総務部長より）

（荒木田珠算検定部長より）

（深澤総務部長より）

法人となり、

②私達会員の確定申告もより

ちんとしたものにしていかねばな

らない等。まだまだ教えて頂きた

い事がたくさん!!

（平成二十五年競技事業報告より）

（渡辺競技部長より）

（深澤総務部長より）

算を感じました。

（竹内静珠協検定部長より）

①『静珠協の意義』＝隔月の全珠連検定の穴を補う→ひいては子供のモチベーションを高めていく。

②『珠算の財政＝検定受験者数』珠算の未来の為、受験者数を増やしていく事が必須。

③『子供の人間力を高める。成長を見守る』→検定試験のような小さなチャレンジ、失敗を繰り返す事が将来への貴重な経験・勉強となる。

それぞれの先生方の役職により、仕事内容は異なりますが、全ての先生方の根底に一貫してあるもの＝それは、『珠算業界を発展させていこうという強い意志』『生徒を伸ばしていこうという愛情』

『各地区を盛りあげていこうという熱意』など様々な思いがお言葉の端々から伝わってきて、私もまたこの入会一年という節目の年に氣を引き締め、襟を正して進んでいこうという思いを強くしました。そして改めて、珠算の活性化の為には、月々の検定試験がいかに大切かという基本に立ち返らせます。

清水地区競技大会は、毎年夏休みに行なわれます。第四十六回目の今年は七月三十一日（木）、会場は三回目拝借の江尻公民館です。ここは清水駅から徒歩で十分程なので、JR利用の私にとっては大変有難い場所です。

さて標題の『ユニークな』といふのは、選手一人が参加できるのが、（かけ算、わり算、見取算）

## ホット＆ユニークな 地区競技大会

清水地区 赤木利子

今後も御指導御鞭撻よろしくお願い致します。

最後になりますが、高校野球を気にされながら終始和やかな雰囲気を作り進めて下さった徳増研修部長、『話は短く切り上げよう』とおっしゃいながらも時間を越え熱く思いを伝えて下さった松村支部長はじめ、貴重なお時間をさき、私達に多くの事を御指導下さいました。私達は日々努力していく所存であります。

開会式が終わるとまずは、×÷見の部屋に分かれ五十問のピラミッド問題を十分間やります。参加者の交換審査で正答数の多い順位に一等～三等まで決定し、パソコン入力と賞状書きの先生へ渡します。同条件の同点があれば、その場で決勝を行い決定します。今年はわり算競技の中学生が一等を決める決勝を二回行いようやく決まりました。同部屋の小学生にも良い刺激になつたかなあと想いました。

この大会もう一つの特徴は、入賞した生徒を参加教室ごとに分け、一等三点、二等二点、三等一点として集計し最も点数の多い教室に、優勝カップを与えます。こだましに、暗算に自信がない低学年の子たちの励ましになりました。



等を決める決勝がありました。私の担当した四年以下の読上算はスマートに決定したので、待つ間、深澤先生が暗算の大切さを話されました！と挙手すると「よくできました！」とほめて下さったので、まだ暗算に自信がない低学年の子たちの励ましになりました。



これは珠算普及に大変尽力された県支部長も務められた故斎藤茂七先生の功績を形に残そうと亡くなられた翌年から設けられました。カップは持ち回り制なので、その年の最優秀塾名が書かれたリボンがつけられています。今年も月見町珠算教室（塾長望月公子先生）が獲得し十年以上連続の快挙です。これは表彰式の一番最後の授与ですが文の都合で先に書かせて頂きました。今年は茂七先生のお弟子である田島先生から代表二名に渡されました（写真）でも惜しい事ですが、二十年以上活躍したこの



優勝カップが今年でそのお役目を終え優勝歴の長い月見町珠算教室にそのまま保管されることになりました。『カップさん長い間ご苦労さまでした！』④ 文が前後して申し訳ありませんが、昼食後、賞状が出来る迄の三十分間は恒例のbingoゲームです。緊張から解き放されて賑やかな楽しいひと時です。賞品はささやかな物ですが、実は全員分用意されていてbingoにならなかつた人も戴けるのです。（ここが優しい！）今回は表彰式までの時間がもう少しあつた為、中野先生の

<b>わり算</b>	川島夏紀	中山七夕海	鈴木歩惟
	森 花音	根岸皇羽	小林さくら
<b>見取算</b>	中山真瞳	内山侑万里	清原望愛
	森 美波	岸山 翔	大石梨紗
<b>読上算</b>	原佑生子	櫻井あんり	上野七海
	森 美波	田邊映斗	立木優菜
<b>読上暗算</b>	原佑生子	中山七夕海	上野七海
	森 美波	鈴木智京	小林璃奈
	久保怜音	岸山 翔	上総屋日依
	野澤優志	岸山 翔	清原望愛

今日はマイクが1本不調の為、深澤先生が地声で名前を読み上げ



今年の優勝者は次の通りです。どの種目も二年生以下の部、三年生の部、四年生の部、五年生の部、六年生の部、中高生の部の順番です。今年の優勝者には、田島先生のご苦労とあと八名の先生方のチームワークに依り、ホットでユニークな地区競技大会を無事に終える事ができ感謝です。先生方ご苦労様でした。又、この文を書くに当たりアドバイスやご協力を賜りありがとうございました。

来年も元気で楽しく出来ますようになります。この様にして会場予約から作問等々最後の賞状書きまでされる田島先生のご苦労とあと八名の先生方のチームワークに依り、ホットでユニークな地区競技大会を無事に終える事ができ感謝です。先生方ご苦労様でした。又、この文を書くに当たりアドバイスやご協力を賜りありがとうございました。

て下さいましたが、さすが高校生相手に鍛えられたお声で大丈夫でした。

## 静岡県そろばんの日

沼津地区 萱間志津子



第五十回「静岡県そろばんの日」は全国的に大気が不安定な状態が続き、各地に大雨・落雷の注意報が出ている八月二十日水曜日、静岡市清水文化会館にて盛大に開催されました。

今年度はグランシップが都合上

使用できなくなり、清水文化会館に盛大に開催されました。

となつた。清水駅下車、三保の松原が世界遺産となり駅周辺は美しく整備されていた。高架橋を渡りながら天気が心配で空を見ると、薄雲を通して太陽が降り注ぐ何とも清潔しい午前九時であつた。

新築間もない近代的なこの会館は勝手解らず、迷路のような会場を清水地区の先生に楽屋・舞台裏と案内される。

九時三十分 大ホールに全員集合する。松村支部長の挨拶に続き、本日の進行要領の把握と担当確認がされた。今年の役員は東部地区が担当。各持場で手際よく進行準備された。役員控室は楽屋裏にあり最初は迷った道も用事で走りまわっていると、新館だけあって機能的で有る事に気付く。氏名読上係は荒木田先生の指示に従い楽屋裏の控室に入る。既に事務局の青島さんが莫大な仕事をテキパキと準備していた。

十一時三十分 受賞者と保護者の受付開始。受付もスピードアッ

プして、欠席者が次々と控室に届く。読み手は名簿を取消す、欠席が出席にもなる。

十二時三十分 開式。

幕が上がり場内を見ると椅子の配置は一望しやすく最上段までよく見える。満席だつた。会場が広すぎると空席が目立つが、出席者がぴつたりでした。

澤田幸子先生司会により開式の言葉を深澤好胖先生。続いて国歌斉唱。静肅な空気が場内に溢れて、静けさが引き締まつたなか、静岡県珠算協会会长挨拶。来賓祝辞。毎年乍ら多くの来賓の方々のご出席により式典が格式高くなりました。お忙しい中、本当に有難く感謝申し上げます。

十三時十五分 表彰始まる。

第五十回の表彰申請者は、四九三名。東豆地区より一番から四九三番迄三組に分けて、東部の地区長により氏名が読上げられる。荒木田先生が一人ひとり「おめでとう」と励まして。盾を胸に抱

う子は礼儀作法も身に着く事を父兄の皆さんを感じたと思う。

続いて、研修部長 徳増久夫先生により、作文・詩コンクールの報告。本年度の作文四一〇稿・詩一二四稿 計五三四稿でした。厳重な審査の結果、

作文の部優秀賞

「そろばんを未来へつなぐ」

静岡市立西奈小学校六年

小松ひかる

詩の部優秀賞

「人生は たし算だ」





伊東市立西小学校5年  
菊池航太  
が選ばれ作文と詩が朗読された。  
二人共大きな声が隅々迄響き最高  
でした。

続いて十段合格者の表彰。最後  
に受賞者を代表して伊豆の国市立  
大仁小学校六年榎原尚子さんが謝  
辞を読み式典の最後を飾った。

が選ばれ作文と詩が朗読された。  
二人共大きな声が隅々迄響き最高  
でした。

次第に難問となり、正解者が少な  
くなつた時、突然若い母親が正解  
する。会場が沸いた。「そろば  
ん」の良さが親から子へと伝わっ  
ている。

### 珠算界はこれこそが発展だ。

十五時 お楽しみ抽選会

景品の紹介有り 「特等タブレッ  
ト」のアナウンスに静かだった場

内が一気に騒ぎだした。そして特  
等当選者が決定。閉会となる。

十四時二十分 アトラクション

恒例のフラッシュ暗算始まる。

十四時二十分 アトラクション  
恒例のフラッシュ暗算始まる。

- ◎十月十九日(日)  
第二回 段位審査会
- ◎十月二十日(日)  
全日本通信珠算競技大会  
毎日パソコン入力コンクール  
予選会
- ◎十月二十六日(日)  
第三百六十三回暗算一～八級検定
- ◎十一月一日(日)  
第二回 全珠連競技部会  
静珠協珠算検定
- ◎十一月三十日(日)  
第三百六十四回全珠連珠算検定  
暗算段位検定

## 十月・十一月の行事予定



### 第362回 全珠連【珠算】検定試験受験者数報告書

○囲みの数字は受験料免除者 段位～15級：平成26年7月20日施行

地区	段位	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	11級	12級	13級	14級	15級	合計	前年同期
賀茂	0	0	4	3	0	1	1	3	0	0	0	0	3	2	4	1	22	31
東豆	10	9	13	13	11	18	7	7	9	2	1	0	0	0	0	0	100	87
三島	6	10	14	22	16	7	9	7	5	10	8	1	1	3	1	1	121	127
沼津	28	17	15	16	12	20	11	19	15	14	16	2	5	6	4	2	202	177
富士	7	4	7	17	8	6	7	5	0	1	3	0	0	0	0	0	65	61
清水	17	6	5	4	11	11	9	9	15	9	7	2	0	1	5	1	112	92
静岡	29	14	34	33	32	42	26	27	20	15	16	0	1	5	1	1	296	329
志太櫻原	29	17	23	30	12	20	15	13	7	0	3	0	0	0	0	0	169	145
中遠	24	20	22	32	11	10	13	5	7	5	4	0	0	0	0	0	153	146
浜松	111	① 62	65	② 81	④ 33	⑥ 23	⑥ 33	④ 29	⑥ 24	③ 3	⑥ 6	0	2	0	0	0	⑧ 472	502
北遠	27	20	39	43	20	16	18	11	10	1	8	0	0	0	0	0	213	254
総合計	288	① 179	241	② 294	④ 166	⑥ 174	⑥ 149	④ 135	⑥ 112	③ 60	⑥ 72	5	12	17	15	6	⑧ 1,925	1,951
前年同期	300	② 193	251	② 333	③ 169	④ 154	⑤ 144	⑨ 123	② 118	① 61	⑦ 57	7	11	6	11	13	⑧ 1,951	

## 第 362 回 全珠連【暗算】検定試験受験者数報告書

段位: 平成 26 年 7 月 20 日施行 1 級~8 級: 平成 26 年 8 月 31 日施行

地 区	段 位	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	合 計	前年同期
賀 茂	1	0	2	0	3	1	2	2	3	14	22
東 豆	14	8	5	14	13	21	12	0	0	87	87
三 島	5	2	2	3	10	5	3	2	9	41	50
沼 津	10	10	3	9	8	6	13	9	5	73	85
富 土	8	3	9	4	4	9	10	0	0	47	44
清 水	10	3	3	7	7	9	7	1	0	47	36
静 岡	20	10	22	17	21	11	10	2	1	114	145
志 太 森 原	17	0	5	18	19	17	11	10	0	97	89
中 遠	13	12	17	28	15	19	15	2	1	122	165
浜 松	68	35	43	42	55	47	45	8	1	344	318
北 遠	20	9	27	26	27	29	28	0	0	166	138
合 計	186	92	138	168	182	174	156	36	20	1,152	1,179
前年同期	183	117	121	167	212	184	128	41	26	1,179	/

## 昇段者氏名

◎ 第 362 回 珠算検定試験	七 段	六 段	五 段	四 段
大橋 明絢	山下 航平	神谷 玲茉	植村 梨歩	竹山 裕貴
県立浜松商業高1年	県立浜松商業高3年	県立浜松商業高2年	県立浜松商業高1年	浜松和地小6年
田中ひかり 浜松舞阪小6年	永嶋 実穂	田中ひかり 浜松舞阪小6年	永嶋 実穂	田中ひかり 浜松舞阪小6年
中村 美咲	森町立旭が丘中2年	中村 美咲	森町立旭が丘中2年	中村 美咲

## 第 362 回 静珠協珠算検定試験受験者数報告書

4 級~10 級: 平成 26 年 8 月 31 日施行

地 区	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	9 級	10 級	合 計	前年同期
賀 茂	0	2	5	0	1	3	2	13	0
東 豆	12	10	6	13	9	2	0	52	53
三 島	11	12	11	10	8	4	10	66	66
沼 津	5	7	8	5	2	3	5	35	28
富 土	2	2	5	5	3	5	5	27	32
清 水	8	2	5	8	9	4	6	42	28
静 岡	11	15	15	15	16	11	16	99	112
志 太 森 原	14	12	13	13	11	7	7	77	96
中 遠	14	15	7	15	11	6	10	78	88
浜 松	35	43	36	29	33	16	9	201	186
北 遠	22	16	11	7	19	7	4	86	56
合 計	134	136	122	120	122	68	74	776	745
前年同期	136	155	128	116	96	54	60	745	/

## 参段

四 段	五 段	六 段	七 段	八 段	九 段	十 段	十一 段	十二 段	十三 段	十四 段		
松本 有理	長谷川萌佳	石上 昇汰	松本 有理	松木 幸亮	大橋 明絢	山田 幸亮	大橋 明絢	鈴木 幸亮	川坂 津田	北嶋 山本		
浜松中瀬小4年	浜松大里西小5年	浜松浅間小6年	浜松中瀬小4年	県立浜松商業高3年	県立浜松商業高1年	県立浜松商業高3年	県立浜松商業高1年	県立浜松商業高3年	浜松北浜東部中1年	浜松北浜北小5年	浜松舞阪小6年	
田中ひかり 浜松舞阪小6年	永嶋 実穂	一平	田中ひかり 浜松舞阪小6年	永嶋 実穂	幸亮	田中ひかり 浜松舞阪小6年	幸亮	幸亮	永嶋 実穂	永嶋 実穂	成澤 茉由	
中村 美咲	常葉学園大2年	昇汰	浜松新津中1年	浜松新津中1年	浜松新津中1年	浜松新津中1年	浜松新津中1年	浜松新津中1年	浜松新津中1年	浜松新津中1年	浜松新津中1年	咲月 静岡長田南小6年

## 準段

四 段	五 段	六 段	七 段	八 段	九 段	十 段	十一 段	十二 段	十三 段	十四 段	
伊賀野晏依	矢野尚平	和久田歩帆	山本中明	小西梶村	生出くるみ	大石彩翔	片山曾我	鈴木轉松	杉田松本	竹山山埜	山田幸亮
浜松篠原小6年	浜松神久呂小6年	磐田磐田	磐田磐田	磐田磐田	大石彩翔	大石彩翔	大石彩翔	大橋幸亮	大橋幸亮	大橋幸亮	大橋幸亮
伊賀野晏依	矢野尚平	和久田歩帆	山本中明	小西梶村	生出くるみ	大石彩翔	片山曾我	鈴木轉松	杉田松本	竹山山埜	山田幸亮
浜松篠原小6年	浜松神久呂小6年	磐田磐田	磐田磐田	磐田磐田	大石彩翔	大石彩翔	大石彩翔	大橋幸亮	大橋幸亮	大橋幸亮	大橋幸亮

## 参段

四 段	五 段	六 段	七 段	八 段	九 段	十 段	十一 段	十二 段	十三 段	十四 段	
菅沼	立鶴	大沼	川口	大沼	川口	菅沼	立鶴	大沼	川口	大沼	菅沼
立鶴	飯田みなほ	立鶴	永島	立鶴	永島	立鶴	飯田みなほ	立鶴	永島	立鶴	立鶴
県立浜松商業高1年	藤枝大洲中2年	藤枝大洲中2年	蒲原東小5年	蒲原東小5年	蒲原東小5年	蒲原東小5年	藤枝大洲中2年	蒲原東小5年	蒲原東小5年	蒲原東小5年	蒲原東小5年
大高 あい	遠藤 風花	大高 あい	土屋 涼子	土屋 涼子	土屋 涼子	土屋 涼子	遠藤 風花	土屋 涼子	遠藤 風花	土屋 涼子	遠藤 風花

